

土砂災害予想区域図

土砂災害（斜面崩壊や土石流）が発生する可能性や発生した場合、住民の身体などに危害を及ぼす恐れのある区域を图示しています。

◎急傾斜地の崩壊

傾斜度30度以上の土地が崩壊する自然現象のことで、次の条件が該当する区域です。

- 傾斜度が30度以上で高さが5メートル以上の区域
- 急傾斜地の上端から水平距離が10メートル以内の区域
- 急傾斜地の下端から傾斜地の高さの2倍以内の区域（50メートルを超える場合は50メートル）



▲土砂災害予想区域図

◎土石流

山腹が崩壊して生じた土石や渓流の土石などが水と一体となって流下する自然現象のことで、次の条件が該当する区域です。

- 土石流の発生のおそれがある渓流で、渓流の出口、またははらんらん開始点から下流で勾配が2度以上の区域

洪水・津波浸水予想区域図

大雨による洪水や津波による浸水の深さを图示しています。

◎大雨による洪水

洪水による浸水領域は、大雨の規模を50年に1回程度起こる大雨（※1）を予想して、来馬川・鷲別川・登別川が増水し、河川がはらんらんした場合の浸水予想範囲とその深さを示しています。

- ※1 1時間雨量が15ミリ以上で24時間以上継続した場合、想定雨量に達します。

◎津波による浸水

津波による浸水領域は、マグニチュード8・6規模の地震を想定し、その地震によって生じる津波の浸水予想範囲とその深さを示しています。なお、地震の震源地は太平洋沖（十勝・釧路沖）を想定しています。また、平成17年9月、『日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法』

が施行され、平成18年2月に地震災害が生じる恐れのある地域が指定されましたが、当市は指定されていないことから、地震・津波災害が起きにくいことが判明しています。



▲洪水・津波浸水予想区域図